

島おこし協力隊ミッション

ミニコラム 11

「この指、とまれ！」



鳥獣被害対策&ジビエ振興担当の藤原でございます。

上島町に降りたち自然の息吹を間近に感じ、もうすぐ一年が経とうとしています。四季折々、島の移り変わる景色を肌で感じながらゆっくりと堪能……する間もなく、あぐせくと濃厚な毎日を送っております。とはいえ、移住後はたくさんの人との出会いがあり助けられ、新たなチャレンジと任務をつかさどり、充実感に満たされております。

「あ、すみません。」相変わらず私のしょうもない前置きはさて置き、協力隊のミッションについてご紹介させていただきます。

なぜ、ジビエ振興なの？

今回は、「なぜ、今ジビエ振興なの？」についてお話しします。昨年は日本各地でクマによる痛ましい被害が多くあったことが、記憶に新しいかと思えます。野生鳥獣による農作物被害は、全国で155億円といわれています。

島の恵みに感謝

「いただいた命を無駄にしない。」が、われわれのコンセプトであり務めです。捕獲だけ進め、廃棄や自家消費だけにとどまらず、「ジビエ」として地域資源に生まれ変わらせ特産品にすることが重要ミッションとなっている次第です。

上島町産の安全安心で、何より美味しいジビエの提供をお約束します。「上島町のジビエの魅力や栄養価」については、前回コラムのとおり。マッチョになりたい方！美肌になりたい方！お疲れ気味の方！

「この指、とまれ！」



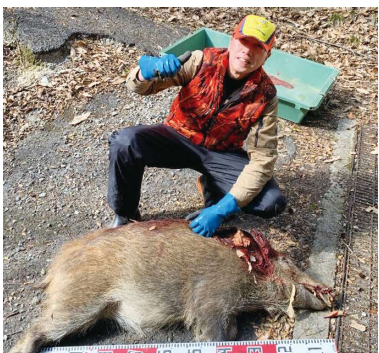
鳥獣対策ジビエ振興 藤原 隆司

上島町においてもイノシシによる農作物、家屋や車の被害が発生しており、場合によっては人への危害発生の恐れもあります。全国各自治体において（当然、上島町においても）「捕獲」「侵入防止（防護柵）」「環境管理」の三本柱で鳥獣被害対策を強化していますが、野生鳥獣の利用率は国内全捕獲の約10%というのが現状です。

野生鳥獣被害対策の三本柱



▲ 師匠たちと「山へ「芝刈り」に」？？…「山へ「狩猟」に」出動



▲ 初捕獲！！これも師匠のご指導の賜物

ゆめしま未来塾



島おこし協力隊の雫石です。最近の公営塾の活動について紹介します。

最近の活動と協力隊卒業のご挨拶

この冬には、全商英検、実用英語技能検定、全商簿記検定に塾生がチャレンジしました。日ごろの勉強の腕試しに、また、大学受験を見据えた戦略として、受検の目的はさまざまですが、資格は将来に役立つものなので今後も積極的に受検してもらいたいです。さて、私は今月で島おこし協力隊の任期は終了となります。講師として上島町の生徒たちに関わることができたことに

感謝の気持ちでいっぱいです。ゆめしま未来塾、そして、弓削高校のさらなる発展と弓削高生の夢の実現を祈念して退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。



ゆめしま未来塾 雫石 まどか

弓削高校魅力化コーディネーター



いよいよ来月から弓削高校学生寮「ゆめしま寮」がオープンし、全

弓削高校の新たな船出と協力隊卒業のご挨拶

国各地から新入生が上島町に移り住み、学校生活をスタートさせます。町内から進学する生徒のみならず、新たな仲間との出会いが待っています。2017年からスタートした高校魅力化プロジェクトのチャレンジはこれからも続きます！

私は3月末で任期満了となり、島おこし協力隊を卒業します。上島町での経験を活かし、人材育成を通じた全国各地の地域活性化に取り

組みます。弓削高校魅力化に携わることができ、とても幸せでした。プロジェクトを通じて連携させていただいたみなさまに感謝です。今まで、本当にありがとうございました！



高校魅力化コーディネーター 来住 美里

島おこし協力隊（移住定住）

あっという間に任期の3年が経ちました！長くも短くも感じる3年間でした。まずコロナ禍から始まった業務でしたが、逆にゆっくりと地域を知ることができたと思います。

2年目は移住フェアが対面式で再開され、島を出て都市部で上島町をPRするのはとても楽しく常にやりがいを感じていました。フェアや日々の移住相談を通して出会った方々が、実際に上島町に移住されるニュースを聞くと本当にうれしく、

第二の故郷

こうして少しずつ町の仲間が増えていく橋渡し役になれたことに感謝しています。

私は2年目からゆめしま未来塾の講師も兼務していました。業務で島の高校生と関われることは、貴重な経験であり大変多くのことを学びました。少しでも生徒たちの人生に刺激を与えられたのであれば本望です。

上島町のおかげで、たくさんの新しい知識と視点を得ました。必ず今

後の私の人生の糧になるでしょう。これからも第二の故郷として関わり続けたいと思っています。3年間本当にありがとうございました！



移住定住 中山 なぎ